

本資料のうち、枠囲みの内容は、  
営業秘密または防護上の観点から  
公開できません。

東海第二発電所 工事計画審査資料	
資料番号	工認-377 改1
提出年月日	平成30年5月31日

## V-3-5-1-1-1 管の基本板厚計算書

まえがき

本計算書は、添付書類「V-3-1-6 重大事故等クラス2機器及び重大事故等クラス2支持構造物の強度計算の基本方針」に基づいて評価を行う。

評価条件整理結果を以下に示す。なお、評価条件の整理に当たって使用する記号及び略語については、添付書類「V-3-2-1 強度計算方法の概要」に定義したものを使用する。

・評価条件整理表

管No.	既設 or 新設	施設時の 技術基準 に対象と する施設 の規定が あるか	クラスアップするか				条件アップするか				既工認に おける 評価結果 の有無	施設時の 適用規格	評価区分	同等性 評価 区分	評価 クラス	
			クラス アップ の有無	施設時 機器 クラス	DB クラス	SA クラス	条件 アップ の有無	DB条件		SA条件						
								圧力 (MPa)	温度 (°C)	圧力 (MPa)						温度 (°C)
その他	既設	有	無	DB-1	DB-1	SA-2	無	8.62	302	8.62	302	有	S45告示	既工認	—	SA-2
その他	既設	有	無	DB-1	DB-1	SA-2	無	10.69	302	10.69	302	有	S45告示	既工認	—	SA-2

## 1. 概要

本計算書については、重大事故等対処設備としての評価結果を示すものであるが、設計基準対象施設としての使用条件を超えないことから、評価結果については、昭和 50 年 10 月 6 日付け 50 資庁第 8313 号にて認可された工事計画書のIV 添付資料「IV-1-1 原子炉再循環系配管の規格計算書」、及び昭和 51 年 6 月 19 日付け 51 資庁第 6500 号にて認可された工事計画書のIV 添付資料「IV-1-1 原子炉再循環系配管の規格計算書」による。